

浜松市浜松手をつなぐ育成会 講座 7月から



育成会発達支援委員会では、感染対策をして講座を開催します。参加者の皆さんは、全員マスク着用の上、手指の消毒にご協力をお願いします。会員・非会員問わず、お気軽にご参加ください。ご家族、学校関係者、福祉医療関係者など、障害のある方を支える皆さんの学習と交流の場になることを願っています。講師は、記載のないものは臨床発達心理士の前堀告予です。浜松市浜松手をつなぐ育成会ホームページからもチラシがダウンロードできますので、[浜松育成会情報メールトップページ](#)をご覧ください。今後、感染症などの理由で中止や変更があった場合はホームページで告知します。参加前には、ホームページをご確認ください。講座チラシは、広報誌「手をつなぐ浜松」と同じ3月6月9月12月の上旬発行です。

①令和2年7月4日（土）9：30～12：00 浜松福祉交流センター 21会議室

「読み書きと言葉の力をのばす」MIMの指導

- ・「一年生一学期のMIM授業」MIMの教材の使い方、動作化練習をします。
- ・MIMをどんな考え方で構築しているのか、開発者の意図を知りましょう。
- ・どんな手掛かりを使って、どう教えればいいのか、手掛かりの種類を知ることと、いくつかの手掛かりを組み合わせることが大事。(MIMについては、4ページ参照)

②令和2年7月4日（土）13：30～15：30 浜松福祉交流センター21

「応用行動分析 赤いはしご青いはしご」基本編

なぜほめるの？ほめるとどうなるの？どうしたらほめられる？

- ・困った行動が作られていく道筋を知りましょう。一番基本のお話です。
- ・誰も悪者はいません。『赤いはしごと青いはしご』の話で、悪者探しをやめましょう。
- ・行動は、働きかけで変わっていきます。子供の行動はもちろん、あなたの行動も無意識の部分がとても多いのです。意識して行動するだけで、結果はぐんと変わります。

③令和2年7月8日（水）10：15～12：00 あいホール 302 会議室

「読み書きと言葉の力をのばす」MIMの指導

- ・「一年生一学期のMIM授業」MIMの教材の使い方、動作化練習をします。
- ・どんな手掛かりを使って、どう教えればいいのか、手掛かりの種類を知ることと、いくつかの手掛かりを組み合わせることが大事。ご家庭向けにお話します。

④令和2年7月11日（土）9：30～11：30 あいホール 302・303 会議室

「知能テストをどう役に立てるの」WISC 検査を知り尽くす公認心理士に聞く

- ・矢田勝先生を迎えて、検査の内容から、読み取りから、活用までなんでも聞けます。
- ・知能テストは何を調べているのでしょうか。いくつもの検査をやるのはどうしてなのでしょう。検査を受けに行くときに、この子の困るところの何をどう伝えれば検査の結果を役立てられるのでしょうか。

浜松市浜松手をつなぐ育成会 講座 8月

夏休みのため、平日の講座はありません



①令和2年8月1日(土) 9:30~11:30 受付9:15~

曳馬協働センター美術実習室利用予定(7/1から予約開始のため)

新企画「親子陶芸教室」みんなで粘土をこねましょう。講師 安藤早恵子先生

要予約 作品を作る人数限定20人 申し込みはメール、電話などで前堀 告予まで
定員になり次第締め切ります

作品を作る人の氏名、子供なら学校学年。幼児でも何かは作れます。

付き添いだけの人は作らないと明記してください

会費等 材料代1000円 参加費500円(作らない人も参加費はかかります)

出来上がった作品の受け渡し方法を当日相談します。8月末頃の予定です。

- ・涼しい秋を思って、お月見ウサギを作る予定です。自由な作品を作りたい方は、ご自分の粘土の量の範囲でお作りください。割れやすい、焼きにくい形の場合は、手直しさせていただきます。障害のある子にも対応してくださる先生です。

②令和2年8月29日(土) 9:30~11:45 受付9:15~

浜松福祉交流センター21

「読めない子を助けよう」国語編

- ・新国語教科書の教材を使い、うまく読めない子の学習を助ける方法を実習。
- ・読み物教材と、説明文教材の手掛かりの書き込み方、挿絵の活用方法など、支援級の指導にも即使えることばかり。おうちでの本読みを嫌がる子の助け方など。
- ・一学期の指導時間不足で困っている先生や子供に即役立ちます。

③令和2年8月29日(土) 13:30~15:30 受付13:15~

浜松福祉交流センター21

「応用行動分析 子供があばれたときに」

怖がらずに対処できるためには理論が大切、分かっているなら怖い

- ・子供があばれたときに一番困っているのは子供本人です。自分の操縦ができなくて嬉しい人はいません。皆に嫌われてしまいます。一層つらくていたたまれなくなります。
- ・相手と接するとき、一番大事なことは何でしょうか。「相手が喜ぶことをすること」という一見して当たり前の結論に達するまでに私の考えたことを聞いてください。
- ・ホールディングという抑え方の実習をしますので、動ける服装で来てください。



①令和2年9月3日(木) 10:15~12:00 あいホール 303

「**応用行動分析 はじめの一步**」困った行動が作られていく道筋を知りましょう

- ・誰も悪者はいません。『赤いはしごと青いはしごと』の話で、悪者探しをやめましょう。
- ・行動は、働きかけで変わっていきます。子供の行動はもちろん、あなたの行動も無意識に反応して出ている部分がとても多いのです。意識して行動するだけで、結果はぐんと変わります。
- ・子供に振り回されていると疲れます。こちらから子供を動かす、先手必勝です。

②令和2年9月19日(土) 9:30~11:45

浜松福祉交流センター大会議室

「**グループホームで暮らす**」今田岳史さん、今田雅史さん、大橋正季さんを迎えて

資料準備の関係で、参加申し込みをお願いします。参加人数には制限はありません。

- ・くるみのグループホームで暮らす当事者今田岳史さん、そのお父さんでグループホームの支援員もなさっていた今田雅史さん、グループホームすてっぷ施設長大橋正季さんに暮らしぶりや福祉制度、お金の話、年を取ってどうなるかなどなど、たっぷり伺います。移動支援利用の話など、とても興味深いですよ。
- ・今田岳史さんは、写真家でもあります。趣味で撮影した写真で各賞に入賞もされています。とてもいい写真で私も大好きなので、写真展示も行います。
- ・すてっぷは、ひかりの園の法人内の協働学舎グループのグループホームです。

③令和2年9月19日(土) 13:30~15:30

浜松福祉交流センター大会議室

「**読み書きと言葉の力をのばす**」入学前の子の言語発達

「**手をつなぐ浜松**」6月号の「**保護者の学び舎**」にのせた内容を詳しくお話します。

- ・言葉の力の基本は語彙力・音韻理解・言葉への興味です。学齢前後を含めて、どうやって言葉をのばしていくかをお話します。
- ・語彙力のつまずきは、一見ペラペラよくしゃべる子にもよく見られます。言葉や説明が分からなくて、不安で、ふざけていると周囲に勘違いされる行動をとってしまうがちです。調べてみると、言葉を知らない、覚えにくい特性が分かってきます。
- ・音韻の仕組みは、学校の学習の中ではあまり取り上げられないので、幼児の時つまずいていても、フォローされることがなく、できないまま成長してしまい、学力の遅れを引き起こしやすいです。高学年になっても、小さいつがぬけるなど、書きの誤りが多くて本人はとても苦勞します。

浜松市浜松手をつなぐ育成会 体験、座談会案内

津田先生との座談会 参加無料 7/7までに申し込み必要 お子さんが男女問わず
令和2年7月16日(木) 10:00~12:00 定員8人

会場 三方原フリムベル(浜松市北区三方原町2159-3 駐車場は、えほん文庫前)

今年のお話 「わが子の性の指導などについて何でも話しましょう」

聖隷クリストファー大学の津田聡子先生を囲んで、先生の研究領域である月経指導や性の指導について、ざっくばらんな座談の中で、何が困るか、どのような対応や配慮をしてもらいたいかなど、保護者の目線で話しましょう。津田先生からはいろいろなグッズを見せていただき、性指導の状況など研究成果をお話いただきます。

津田先生に教えていただく「月経教育プログラム」 体験者・見学者募集

令和2年10月17日(土) 10:00~12:00 予定

会場 聖隷クリストファー大学構内 予定 参加無料 10/7までに申し込み必要

内容 「知的障害のある初経前後の女の子への月経教育プログラム」 実施

聖隷クリストファー大学の津田聡子先生の研究領域である月経指導や性の指導について、パワーポイントや、人形、ナプキンの実物などを使って初経前後の女の子に授業をしていただきます。一度に指導できる人数が限られますので、見学者を入れて実施します。説明の仕方、いろいろなグッズなど、参考になると思います。なお、ご参加の方には研究協力への同意をお願いします。

体験者 初経前後の女の子とその母親2組(後ろに見学者がいることを予めご承知おきください) 所存学校、学年、お子さんの様子などをお伺いします。

見学者 どなたでも結構です。プログラム実施後に、質問や意見、相談などのための時間を取りますので、ご意見等お寄せください。プログラム中は、体験者のお子さんが集中できるように、お静かに見学をお願いします。体験者に選ばれなかった方は、見学に回っていただきます。

MIM(ミム)とは、平仮名の読み書きにつまづく子をなくすために開発された読み書きの指導方法です。もとは教育現場で活用するために作られましたが、家庭でも指導に役立てることができます。読み書きが苦手な子には学年が上がっても有効です。

会費 一般の方1000円 育成会正会員・賛助会員500円を、当日受付でお支払いください。また、その場で正会員・賛助会員に入会することもできます。

参加申し込み なるべく下記メール宛て名前と所属先と学年と参加日を申し込んでください。電話に出られないことがあります。ショートメール090-4254-9588もお使いください。

問い合わせ先 前堀 告予 050-7585-2926 hattatu@hamamatsu-ikuseikai.com

主催 浜松市浜松手をつなぐ育成会 発達支援委員会

育成会各講座の受付でも参加申し込みができます。